

## 平成30年12月 香美町教育委員会（定例会）会議録

### 【開会・閉会の年月日】

平成30年12月25日（火）午後2時00分～午後3時45分

### 【場所】

香美町村岡地域局3階 301会議室（香美町村岡区村岡390番地の1）

### 【会議に出席した者の職・氏名】

教育長	藤原 健一
教育委員	安田 優二
	野村 道彦
	吉田 加代子

### 事務局

教育総務課長	片山 正幸
こども教育課長	楠田 千晴
こども教育課参事	磯田 英昭
生涯学習課長	中村 和弘
教育総務課主査	大城 優

### 【会議に欠席した委員の職・氏名】

教育委員	山崎 つるみ
------	--------

### 【議事日程】

会議に付した事件も、同じく別紙議事日程のとおりである。

#### 1 開会

（教育長）開会宣言

#### 2 会議録署名委員の決定

（教育長）会議録署名委員に吉田委員を諮り、全員承認

#### 3 会期の決定

（教育長）会期は本日1日限り

#### 4 会議録の承認

（教育長）前回会議録を会議に諮り、全員承認

#### 5 教育長報告

11月26日から12月24日までの期間（前回の教育委員会～昨日）に開催、出席した会議・行事等について資料により報告

○12月6～7日 長野県民新聞：取材対応

→文部科学省から紹介を受け来訪。村岡小学校のチャレンジプランを取材

## 6 協議事項

### (1) 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について

(こども教育課長)

香美町の調査結果の概要について解説

→実施日：平成30年4月17日(火)

→対象：小学校6年生：10校…114人(前年比：37人減)

中学校3年生：4校…129人(前年比：38人減)

→調査内容：国語・算数(数学)・理科の調査。生活習慣・学習環境等の調査

→小学校の現状について

○全国平均を上回る・・・なし

○ " と同程度・・・国語(知識)、理科

○ " を下回る・・・国語(活用)、算数(知識)・(活用)

→中学校の現状について

○全国平均を上回る・・・なし

○ " と同程度・・・国語(知識)・(活用)、数学(知識)・(活用)、理科

○ " を下回る・・・なし

→同基準により兵庫県と比較した場合、小学校の国語と理科が「同程度」、算数が基準を「やや下回る」。中学校はすべて「同程度」

→「理科」は3年に1回実施(知識、活用の区別なし)

→教科ごとの調査状況(調査結果の概略)について説明

→児童生徒質問紙に関する調査状況(経年比較含む)、学力のクロス分析について説明

→教育長の指示により、全教員が夏休み期間中に実際に問題を解いて研さんするとともに、学校ごとに結果を分析し、問題を洗い出して授業に反映

→小学校の低学年から、教師が高い意識を持って指導するとともに、日々の学習を重ねることが重要

→「読書活動」が小中学校共に過去最高値なのは、「3つの町民運動」の一定の成果

→「読書時間」と正答率の分析から、読書の時間数よりも「質」を高めることの重要性が判明

→今後の香美町の取組の方向性について説明

○学校では魅力ある授業づくりとともに、「学ぶ授業」から「学び合う授業」へ質的転換を図る。具体策として、目当てに対する「振り返り」活動を取り入れる。

○学校全体で指導力を高め合う組織づくり

○「チャレンジプラン総合会議」を設置し、取組を更に強化

○子どもたちの「未来」を考え、地域の子どもは地域で育てる機運を盛り上げる

○スマートフォンなどの情報通信機器利用に関するルールづくり 等

→香美町のホームページで公表

### 【質疑内容】

(野村委員)

学力状況の調査結果についてですが、学校ごとの評価を平均したものではなく、児童や生徒の総数としての評価ということではよろしかったでしょうか。

(こども教育課長)

そのとおりです。

(野村委員)

国や県と比較し「同程度」というのは、平均正答率が±5%以内であり、そこに10%の幅があります。もし結果が-5%に近い状況であるならば、課題意識を持って頑張っていたきたいです。

またこれは私の希望ですが、少人数でいろいろなことに頑張って取り組むことによって、ぜひ国や県を「上回る」ものが出てくるような状況になってくれると大変うれしいです。

(教育長)

ありがとうございます。野村委員が言われたことを、ぜひ次回の校園所長会で話をさせていただきます。議会答弁を含め「香美町は少人数でも頑張っている」と明言している限りは、今後少しでも良い結果が出せるよう、取組を強化していきます。

(安田委員)

学力テストは、毎年春休み明けに行われています。夏休みの宿題や補習授業というのはよく聞きますが、春休みの期間を利用した取組というのはあまり耳にしません。

春休みは、1年を振り返るいい機会です。例えばこの期間をより効果的に活用する意味でも、テスト形式で習熟度を測るなど、ユニークな取組ができるように思うのですがいかがでしょうか。

(こども教育課長)

ご提案いただきありがとうございます。

春休みは、人事異動の関係もあり、教師が子どもたちの指導にまで手が回らないということが一つ考えられます。また、教師が3学期の終わりに与えた課題を、次の学年の担任に委ねることをためらってしまうということも考えられます。

しかしながら、そのような意識を払しょくし、教職員がチームとして一丸となり、小学校の6年間を、また中学校の3年間をしっかりと育てていく。前任者からの課題を引継ぎ、子どもたちを丁寧に指導していくというような、今までにない考え方が今後必要であると考えます。

(教育長)

今、こども教育課長が言いましたように、個々ではなくチームで取り組まなければならない問題です。それぞれの学校でのこれまでの取組は良しとして、更なる創意工夫によりぜひ子どもたちに力をつけてやってほしいと思います。

課題や方針をまとめて、校園所長会を通じて指示させていただきます。

(野村委員)

15年ほど昔の話になりますが、県立高校の春休みの補習の実態は学校により違い、全く補習に取り組まない学校もありました。当時も人事異動等の問題は同様にありましたが、私たちは春休みが生徒の学力を伸ばすことができる貴重なチャンスであるならば、たとえ担任が誰であろうと、生徒たちに課題を与え補習に取り組むべきだという結論に至りました。

現在では、例えば入学試験が終わった後の過ごし方や、合格者への課題設定等に対する意識も高まり、但馬内の県立高校もかなり取組を進めているはずですが。

高校は進学が目の前にぶら下がっているため、小中学校とは状況が少し違うかもしれませんが、その取組に倣って香美町の教育現場に取り入れられることがあるのではないのでしょうか。もちろん子どもたちの過重な負担になってはいけません。意識を学習に向けるという意味合いでの課題や補習的な課題を吟味し、上手に活用していただけるとありがたいです。

(吉田委員)

今回の中学校の結果を聞かせていただき、私は少しうれしかったです。3年前に当時小学6年生の子どもたちの中に、学力・生活面で問題を抱えている子がいましたが、中学校の先生方の熱心な

指導によりしっかりと鍛えていただいた結果が、普段の生活態度にも学力調査の中にも表れているように感じました。どのような学習集団であったとしても、学力が伸びる可能性はあると思います。

読書活動の分析結果に関連し、ぜひ紹介したい本があります。脳科学で有名な川島隆太先生が監修された『「本の読み方」で学力は決まる』という本で、小野市で開催された女性教育委員の研修会の際に壇上で川島先生が紹介されていました。

脳の働きにとって読書習慣がいかに大切かについてわかりやすく解説された本であり、いくら勉強しても読書習慣がないと平均以下の成績しかとれないことや、家庭で勉強だけを2～3時間やる子よりも1時間の勉強とある程度の読書をしている子のほうが学習の効果がずっと続いていくことなどの検証結果が書かれています。

香美町では、「3つの町民運動」の柱として読書活動の取組を進めています。子育て・子育て支援センターや保育園だけではなく、乳幼児のお母さん方へ読み聞かせを推奨することにより、子どもたちが幼いころから読書習慣を積み上げていき、小学校や中学校では学習活動の中でしっかりと身に付くようになっていきます。本を読むことは、ただ知識を詰め込むだけではなく、「人に伝わる文章」を書くための表現力にも繋がりますので、読書効果のすごさをあらためて感じています。

しかし、こども教育課長さんが言われたように、「本の読み方」や「読書の質」により、学力の付き方が違ってくると思います。今後、子どもたちの「本の選び方」などについても気を配っていただけると、より一層その効果が上がってくるのではないのでしょうか。

町をあげての取組として、「読書活動」の中身をこれからもぜひ充実させていただきたいです。

(教育長)

ありがとうございました。委員の皆さまから大変貴重なご意見をたくさんいただきました。春休みの課題や読書習慣の大切さなど、ぜひ今後の取組の参考にさせていただきます。

6年生を中学校の先生方にバトンタッチするとともに、小学校の先生方には、小規模校の強みを充分生かしていただき、子どもたちの学力をしっかりと伸ばしてやってほしいと願っています。

## 7 事務局報告

### (1) 教育総務課・・・報告者：教育総務課長

#### ○12月定例議会の補正予算について

→長井小学校整備事業及び香住第二中学校体育館整備事業の精算

→香住小学校の漏水に伴う水道料金

→19校園のエアコン整備費用

#### ○12月定例議会の一般質問について

→看護師不足の解消対策について：見塚議員

→中学校の部活動のガイドライン等について。練習試合において保護者が生徒を送る際の事故責任について：西川議員

→歴史にちなんだ町おこしについて：藤井議員

→子育て環境について。特徴ある教育の成果と今後の取組について：東垣議員

→ワールドマスタースゲームズにおける外国人の受入体制について。小学校での英語教育の取組について。児童生徒の英語検定の取組について等：徳田議員

→英語の教科化について：西坂議員

→病児保育事業について（利用状況。村岡・小代区の状況）。村岡体育館の冷房設備について。旧福岡保育所の建物の利活用について：西谷高弘議員

→病児保育事業について。ファミリーサポート事業について。幼児期学童期における教育について：橘議員

(2) こども教育課・・・報告者：こども教育課長

○宝樹保育園建設工事等の進捗状況について

→平成31年2月完成予定(12月末：68%完了見込)

→隣接する児童公園の芝張り工事に着工

→安全対策として道路ミラー及びゼブラゾーン、グリーンベルトを設置

(3) 生涯学習課・・・報告者：生涯学習課長

○新しい地域コミュニティづくりの基本方針について

→それぞれの地域のさまざまな課題を解決するための新しい地域コミュニティの活動拠点は各地区公民館

→モデル地区として、平成32年度から射添地区が新しい地域コミュニティに移行

○「第37回美方郡子ども会交歓卓球大会・交流卓球大会」の結果について

→12月9日(日)に健康公園体育館(新温泉町)で開催され、113人の小学生が参加。全部門で香美町の選手が上位入賞。小規模校の児童が健闘

○「第14回香美町民スキー大会」について

→平成31年1月27日(日)にハチ北高原スキー場及びおじろスキー場で開催予定

○「日本体育大学連携事業」について

→幼児運動教室・・・(講師：時本久美子氏)11月24日(土)～25日(日)に村岡体育館及び香住B&G海洋センター体育館で開催し、108人が参加

→陸上教室・・・(講師：別府健至氏)12月8日(土)～9日(日)に射添体育館及び香住小学校体育館で開催し、95人が参加

8 その他

○2019年度の事業日程(予定)について

→全県女性教育委員：総会・研修会

日時：2019年6月28日(金) 会場：相生市なぎさホール

→近畿市町村教育委員会：研修大会

日時：2019年10月25日(金) 会場：野洲文化ホール(滋賀県)

○次回定例会について

日時：平成31年1月21日(月) 午後2時～

9 閉会

香美町教育委員会会議規則第27条の規定によりここに署名する。

平成30年12月25日

教育長

藤原健一

香美町教育委員会

署名委員

吉田加代子

会議録作成者：教育総務課 主査 大城 優